

「北区内の認知症患者の急性期疾患（脳卒中・心筋梗塞・骨折など）
及び悪性腫瘍の受け入れ体制」についてのアンケート結果
①現在の受け入れ状況 ②今後の取り組み

医療機関	意見
大阪北通信病院	<p>①現在の受け入れ状況</p> <ul style="list-style-type: none"> 急性期疾患(脳卒中、心筋梗塞、骨折など)の専門医がいないため受け入れしていませんが、手術を要する肛門疾患患者や対応可能な内視鏡、ラジオ波などは受け入れています。 悪性腫瘍患者は、対応可能な消化器の急性期等患者は受け入れています。 (事前にご相談をいただければありがたいと思います。) <p>②今後の取り組み 受け入れについて今後も努力します。</p>
大阪中央病院	<p>*急性期疾患の受け入れ歴 外来:心筋梗塞・狭心症 入院:イレウス・胆のう炎・心筋梗塞・狭心症</p> <p>*悪性疾患の受け入れ歴 外来:なし 入院:腎癌</p> <p>*今後の取り組み 殆どどの科で受け入れ不可能です。 特に徘徊・暴言・暴力行為の方ではまず、受け入れは無理な状況です。腎癌に関しては、徘徊や暴言・暴力行為がなければ受け入れ可能で、心筋梗塞・狭心症・心不全・不整脈に関しては、不穏時や安静が必要な時に家族の付添があれば、受け入れ可能です。</p>
北野病院	<p>急性期疾患に関しては、閉鎖病棟等の専門病棟が必要な場合を除き、原則的に脳卒中、心筋梗塞は24時間対応可能。 骨折は手術の可否、夜間帯は専門医が不在な場合があり、その都度ご相談をお願いします。 悪性腫瘍の受け入れも一般病棟で対応可能な急性期治療対象患者は、ご相談下さい。</p>
済生会中津病院	<p>脳卒中 ①老年内科、神経内科が可能な限り認知症者の脳卒中を入院させています。ただし、両科ともスタッフが不足しており、対応できる入院患者に限られています。このため十分に対応できていないのが現状です。また、興奮状態の認知症は一般病棟の限界があり、受けられないこともあります。 ②H24年度には神経内科のスタッフDrが増える予定なのでより積極的に受け入れるよう努力いたします。</p> <p>心筋梗塞 ①循環内科は急性期のカテーテル治療を含めた延命希望の方に限定したいと考えます。 ②不十分な点があれば改善を目指します。</p> <p>骨折 ①積極的に対応しています。手術まで時間的余裕がある場合はあらかじめ老年内科を受診していただき、身体のコディションを整えたうえで入院・手術をしたいと考えています。 ②不十分な点があれば改善を目指します。</p> <p>悪性腫瘍 ①認知症の程度(癌の説明を概略理解)により、治療選択を考慮します。家族の意向も尊重します。高度認知症の場合、大きい侵襲は避けるようにしています。 緩和ケアチームで最善の方策を考えます。病棟の状況により家族の付添をお願いします。こともあります。治療後(手術など)術前よりADL低下が生じる可能性もご理解ください。 ②不十分な点があれば改善を目指します。</p> <p>その他 肺炎(多くは誤嚥性)も同様に受け入れに問題があります。</p>
桜橋渡辺病院	<p>①認知症を有する循環器疾患の患者は、基本的に受け入れを行っております。病態・重症度等により個々に検討しております。また個室管理での家人の付き添いをお願いする場合があります。 ②現在、看護師やヘルパーの増員による受け入れ態勢の強化を検討中です。</p>
住友病院	<p>せん妄対策チーム発足、老人専門看護師の採用などにより、受け入れ能力向上を目指していますが、せん妄や認知症の周辺症状のため診療への協力が得られず受け入れ困難のことがあります。個室管理で24時間付き添いの方が居られれば原則可能です。</p>
行岡病院	<p>認知症患者の心筋梗塞については対応が困難であるが、外傷では認知症を理由に拒否することはない。特に痛みやせん妄が強い場合は、認知症との区別が困難であるため、できる限り対応する。</p>
加納総合病院	<p>①現状は、受け入れをさせていただいております。ただし、病状および重度の認知症状の場合は、受け入れ不可もあり。 ②検討中です。</p>